

あさひの詩



白山市立朝日小学校
道徳だより NO.3
R6. 7. 2

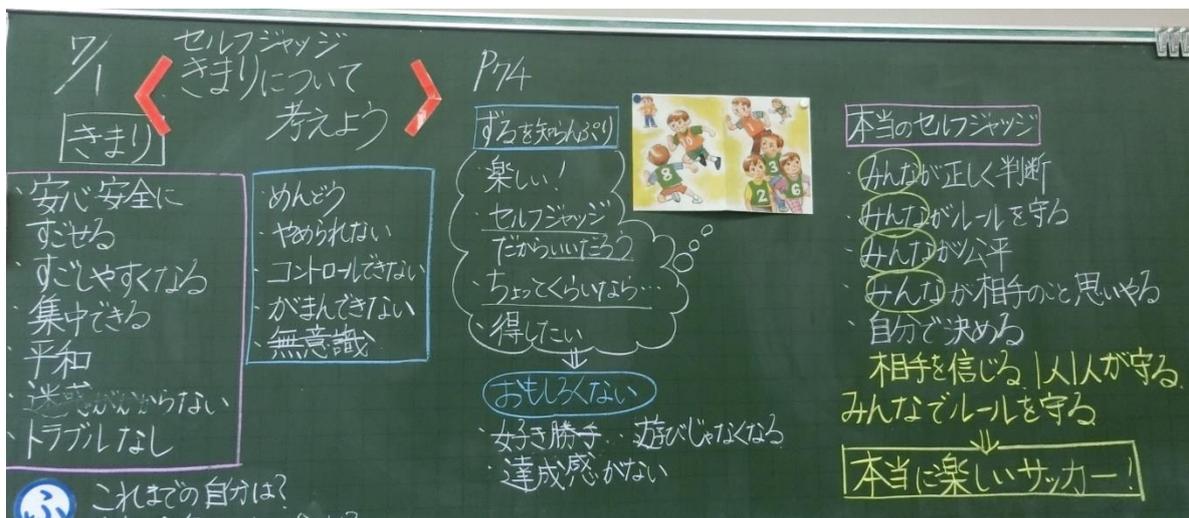
今回は、学校での道徳科の授業の様子をお届けします。今回は5年生の授業です。

5年生「セルフジャッジ」 テーマ：規則の尊重

クラスみんなで休み時間にサッカーをすることになりました。審判なしのセルフジャッジ（それぞれが互いの判断で審判をしながらゲームを進める）で行います。

休み時間になり、サッカーを始めたときは、お互いにルールを守りながらゲームを進めていたのですが、次第にボールがラインを出たことが分かっても、知らんぷりをしてゲームを続けるようになります。そのうち、手を使ったり、大声を出したりする子も出てきました。両チームが好き勝手すればするほど、ゲームはおもしろくなくなっていました。

この学習は、きまりは何のためにあるのかを考え、きまりを守る大切さやみんなが気持ちよく過ごすためにどうすればいいのかを考えることを目的としています。



☆学習後のふり返り☆

- ・今まで、誰かがズルをしても、あとから責められるのがこわくて言えなかったけど、みんなが楽しむためには注意しようと思った。
- ・自分達はよくても、相手は不快に思う人もたくさんいるから、ルールは破ったらだめだと思った。誰かを不快にさせたくないからルールを守ろうと思った。
- ・セルフジャッジをすることで、けんかになる時があるかもしれないけど、セルフジャッジをなくすんじゃなくて、どうすれば良いのかを考えていくとよいことがわかった。
- ・私も、友達に注意されたら無視してしまうことがあったけど、みんなが楽しくなくなるので、注意されたら「ごめん」と一言言えば、相手も楽しくできると思った。
- ・一人だけならいいだろうと思っても、一人がいやならだれもうれしくないから、ズルした一人がちゃんと守らなきゃいけないということがわかった。一人一人が見合いながら注意しないと楽しくないということがわかった。
- ・これからは、みんなが楽しく遊んで真剣にしたい人の気持ちを考えてルールを守りたい。ルールを守った方がみんながうれしくなると思う。